

第10号議案

「公開講座 文京区小学校教員向け「小学校プログラミング教育実技研修」の後援  
名義の使用承認について

上記の議案を提出する。

令和2年2月6日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 加藤 裕一



文京区教育委員会 共催・**後援**名義使用申請書

2020年 1月 8日

文京区教育委員会 殿

申請者 (申請団体) 学校法人貞静学園

貞静学園短期大学

住所 (所在地) 東京都文京区小日向1丁目26番13号

代表者名 (ふりがな) おく あき

学長 奥 明

代表者連絡先  
(事務担当者)

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 共催・**後援**名義を使用いたく、申請します。

## 記

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 事業名   | 公開講座<br>文京区小学校教員向け「小学校プログラミング教育実技研修」       |  |  |
| 実施期間  | 2020年 8月 17日 (月) から<br>2020年 8月 19日 (水) まで |  |  |
| 実施場所  | 貞静学園短期大学                                   |  |  |
| 事業内容  | 目的※  | 新学習指導要領でその実施が求められている「小学校プログラミング教育」において、文京区内小学校に勤務する教員の方が、単独でプログラミング教育を実施することができ、区内小学校児童のプログラミング的思考力を育成する力を体得していただく。さらに授業アイデアを参加教員間で互いに共有し、プログラミングを実施する単元を増やせるようになることを目標とする。  |  |
|   | 内容   | 新学習指導要領でその実施が求められている小学校プログラミング教育において、導入されるに至った社会的背景を理解し、各教科の単元に組みこむことができるプログラミングを実際に体験する。まずコンピュータを利用しない「アンラグド・プログラミング」で、プログラミング的思考力を育む方法論を理解する。次いでビジュアル・プログラミング言語 (Scratch3.0) を使用して、実際に「国語と算数教科」「総合的な学習の時間」を対象にプログラム作成を試みる。さらにScratchを各教科に組み込んだ授業アイデアを考察する。それぞれの指導方法や注意事項なども併せて詳細に解説する。 |  |
|   | 対象者  | 文京区内小学校教員 (参加予定人員 30人)   |  |
|   | 参加費  | 15,000円  |  |
| 他団体の共催、後援等 (申請中、承認済の別)  | なし   |  |  |
| 備考  |  |  |  |
| 申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。<br>公開することに <b>同意する</b> ・同意しない |  |  |  |

※「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

文京区小学校教員向け「小学校プログラミング教育実技研修」

|      |   |      |            |
|------|---|------|------------|
| 研修概要 | 次期学習指導要領でその実施が求められている小学校プログラミング教育において、導入される社会的背景を理解し、各教科の単元に組み込んだプログラミングを体験する。<br>はじめに、コンピュータを利用しない「アンブラグド・プログラミング」で、プログラミング的思考力を育む方法を体感する。各教科や学級活動だけではなく、日常生活の中にもアルゴリズムを発見するヒントはたくさんある。次に、ビジュアル・プログラミング言語 (Scratch3.0) を使用して、実際にプログラム作成を試みる。それぞれの指導方法や注意事項なども併せて解説する。<br>※配付テキスト使用 |      |            |
| 研修目標 | 教員の方がそれぞれ単独でプログラミング教育ができ、授業アイデアを互いに共有し、プログラミング的思考力を育成する単元を増やせるようになることを目標とする。  |      |            |
| 研修期間 | 全3日間 (全9回)  | 3回/日 | 研修時間 90分/回 |
| 環境条件 | ブラウザ (Google Chrome 最新バージョン 又は、Microsoft Edge 最新バージョン)  |      |            |
| 担当講師 | 清水 文也<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システム開発会社 代表取締役</li> <li>・明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科修了 (MBA:経営管理修士)</li> <li>・システムエンジニア歴 15年 (様々な業界の情報システム開発に従事)</li> <li>・貞静学園短期大学 非常勤講師 (公開講座「親子向けプログラミング講座」担当講師)</li> <li>・東京福祉大学「教育学部」担当講師歴 5年</li> </ul>                           |      |            |

|       |                                   |     |  |
|-------|-----------------------------------|-----|--|
| 研修の流れ | 個人ワーク → グループワーク (常時、質疑応答しながら進めます) |     |  |
| 研修内容  | 1日目                               | 第1回 | アンブラグド・プログラミング思考力演習(1)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の簡単な自己紹介と不安要素</li> <li>・プログラミング教育準備 (プログラミング的思考力とは)</li> <li>・日常生活の中のアルゴリズム (フローチャート図)</li> </ul> |
|       |                                   | 第2回 | アンブラグド・プログラミング思考力演習(2)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動の中のアルゴリズム</li> <li>・社会生活の中のアルゴリズム</li> </ul>   |
|       |                                   | 第3回 | <b>グループワーク 1</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・アンブラグドを各教科に組み込んだ授業アイデア考案と発表</li> </ul>   |
|       | 2日目                               | 第4回 | ビジュアル・プログラミング演習(1)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・Scratch3.0 書写によるプログラミング演習</li> </ul>   |
|       |                                   | 第5回 | ビジュアル・プログラミング演習(2)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・「国語科」とプログラミング教育</li> </ul>   |
|       |                                   | 第6回 | ビジュアル・プログラミング演習(3)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・「算数科」とプログラミング教育</li> </ul>   |
|       | 3日目                               | 第7回 | ビジュアル・プログラミング演習(5)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な学習の時間」とプログラミング教育</li> <li>・設計→開発→評価の流れで取り組む</li> </ul>  |
|       |                                   | 第8回 | <b>グループワーク 2</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・Scratch を各教科に組み込んだ授業アイデア考案</li> </ul>  |
|       |                                   | 第9回 | <b>グループワーク 2 (発表会)</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アイデアのフィードバックとアイデア共有</li> <li>・研修体験から新たに表出した先生方のお悩み相談</li> </ul>                                    |

※1日3回を2回に、1回90分を60分にするなど、適宜変更可能です。

## 事業予算書

公開講座  
 事業名 文京区小学校教員向け「小学校プログラミング教育実技研修」

団体名 貞静学園短期大学

| 収 入 単位：円                |         | 支 出 単位：円  |         |
|-------------------------|---------|---|---------|
| 受講料<br>(5,000円×3日) ×30名 | 450,000 | 講師謝礼  | 60,000  |
|                         |         | テキスト代<br>(2,000×30名)                            | 60,000  |
|                         |         | 開催日運営管理費<br>(印刷費)<br>(光熱費)<br>(通信費)<br>(その他諸経費) | 330,000 |
| 計                       | 450,000 | 計   | 450,000 |

2020年 1月 8日

(備 考)

